

新しい学習指導要領について話し合っているみなさまへ

(中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会

総則・評価特別部会、教育課程企画特別部会

主査 貞弘斎子殿)

広げよう！子どもの権利条約キャンペーン

共同代表 甲斐田万智子、喜多明人、野村武司

【子ども向け版】 学習指導要領をよりよくするための要望書

～子どもが主人公になれる学校へ～

文部科学省では、2030年ごろから使われる新しい学習指導要領（学校で何をどのように学ぶかを示したルール）について話し合っています。

私たち「広げよう！子どもの権利条約キャンペーン」は、学校が子ども一人ひとりにとって安心して学べる場所になり、子どもの意見や考えがもっと大切にされるように、次の4つを要望しています。

要望 1. 教育の土台に「子どもの権利」を位置づける

学校では、子どもを「指示に従うだけの存在」ではなく、自分の考えや意見を持つ大切な一人の人として大切にしてほしいと考えています。

そのために、

- 子どもにとって何が一番よいかを大切にすること
- 子どもが意見を言えること
- 学校のことに参加できること
- 誰も差別されないこと

を教育の基本にしてほしいと考えています。

また、自分や他の人の権利について学ぶ機会を増やし、お互いを大切にできる学校にしてほしいと考えています。

要望 2. 子どもが自分で考え、行動できる力を育てる

私たちは、学校で子どもが自分の考えを持ち、自分で選び、行動できるようになることが大切だと考えています。

そのためには、以下の機会をください。

- 自分の意見を自由に話せること
- 学習や活動について選ぶ機会があること
- 話し合いに参加できること
- 仲間と協力して活動できること

こうした経験を通して、自分の人生を自分で考える力や、社会をよりよくしていく力が育つと考えています。

要望 3. どんな子どもも差別されず、安心して学べる学校にする

学校には、一人ひとり違う個性や背景を持つ子どもがいます。

たとえば、

- 障害のある子ども
- 外国につながる子ども
- さまざまな文化や宗教を持つ子ども
- 少数派の立場にいる子ども

など、多様な子どもたちがいます。

私たちは、どんな子どもも差別されず、必要なサポートを受けながら学べる学校にしてほしいと考えています。

また、お互いの違いを認め合い、誰もが安心して意見を言える学校にしてほしいと思います。

要望 4. 学習計画に子どもの声を生かす

私たちは、授業や学習の計画をつくるときに、子どもの意見も大切にしてほしいと考えています。

たとえば、

- 何をどのように学ぶかについて意見を伝えること
- 自分たちの関心や興味を学びに生かすこと
- 授業を振り返り、よりよい学び方を考えること

などです。

先生が決めるだけでなく、子どもも学びづくりに参加することで、学ぶ意欲や主体的に考える力が育つと考えています。

私たちは、この 4 つが実現することで、子ども一人ひとりが大切にされ、自分らしく学べる学校になることを願っています。

広げよう！子どもの権利条約キャンペーンを動かしている団体（12 団体）

- ◇ IPA（子どもの遊ぶ権利のための国際協会）日本支部
- ◇ 認定 NPO 法人 ACE
- ◇ 一般社団法人 Everybeing
- ◇ 認定 NPO 法人 CAP センター・JAPAN
- ◇ 認定 NPO 法人国際子ども権利センター（C-Rights）
- ◇ NPO 法人子どもの権利条約総合研究所
- ◇ 子どもの権利条約ネットワーク（NCRC）
- ◇ 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン（SCJ）
- ◇ 一般社団法人 TOKYO PLAY
- ◇ 認定 NPO 法人 PIECES
- ◇ 認定 NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン（FTCJ）
- ◇ 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン（WVJ）

以上